

2016年3月期 業績概要

橋本 裕一

アンリツ株式会社
代表取締役社長 グループCEO

2016年4月28日



東証第1部 : 6754
<http://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限られるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

I. 2016年3月期 業績概要

I - 1. 事業概要

I - 2. 連結決算概要

II. 2017年3月期 通期業績予想（連結）

II - 1. 2017年3月期 通期業績予想

II - 2. 配当予想について

III. GLP2017 達成に向けた取り組み

Blank slide

I - 1. 事業概要

T&M事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場 : LTE, 3G
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2016年3月期 実績 (連結) : 955億円



T&M 71%			PQA 20%	その他 9%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 35%	エレクトロニクス 20%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 15%	アジア、パシフィック 35%	米州 30%	EMEA 20%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

I - 2. 連結決算概要 - 事業別状況 -

セグメント	2016年3月期（4月-3月）の状況
 T&M：モバイル市場は投資抑制が続く	
モバイル	チップ・端末ベンダーの設備投資抑制継続
NW	光デジタル関連への設備投資堅調
エレクトロニクス	モジュール開発・業務用無線で回復基調
アジア	中国スマホ市場の成長率鈍化 光デジタル関連の製造設備需要増加
米州	通信キャリアの建設投資抑制が続く
 PQA：国内コンビニ市場中心に設備投資が増加	

T&M: Test & Measurement

NW: Network Infrastructure

PQA : Products Quality Assurance

I - 2. 連結決算概要 - 業績サマリー -

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前期実績	当期実績	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
受注高	1,011	946	△ 65	△ 6%
売上高	988	955	△ 33	△ 3%
営業利益	109	59 [*]	△ 50	△ 46%
税引前利益	116	54 ^{**}	△ 62	△ 53%
当期利益	79	38	△ 41	△ 52%
当期包括利益	119	6	△ 113	△ 95%
フリーキャッシュフロー	15	12	△ 3	△ 25%

*リストラ費用約7億円含む

**金融収支に為替差損約4億円含む

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - 金融収支・税金費用・包括利益 -

(単位：億円)

	前期実績	当期実績	前期比 増減額
営業利益	109	59	△ 50
為替差損益*	8	△ 4	△ 12
その他の金融収益・費用など	△ 1	△ 1	0
税引前当期利益	116	54	△ 62
法人所得税費用	37	17	△ 20
当期利益	79	38	△ 41
その他の包括利益	40	△ 31	△ 71
確定給付制度の再測定	13	△ 16	△ 29
在外営業活動体の換算差額	27	△ 18	△ 45
その他	△ 0	3	3
当期包括利益	119	6	△ 113

* 為替予約時価評価を含む

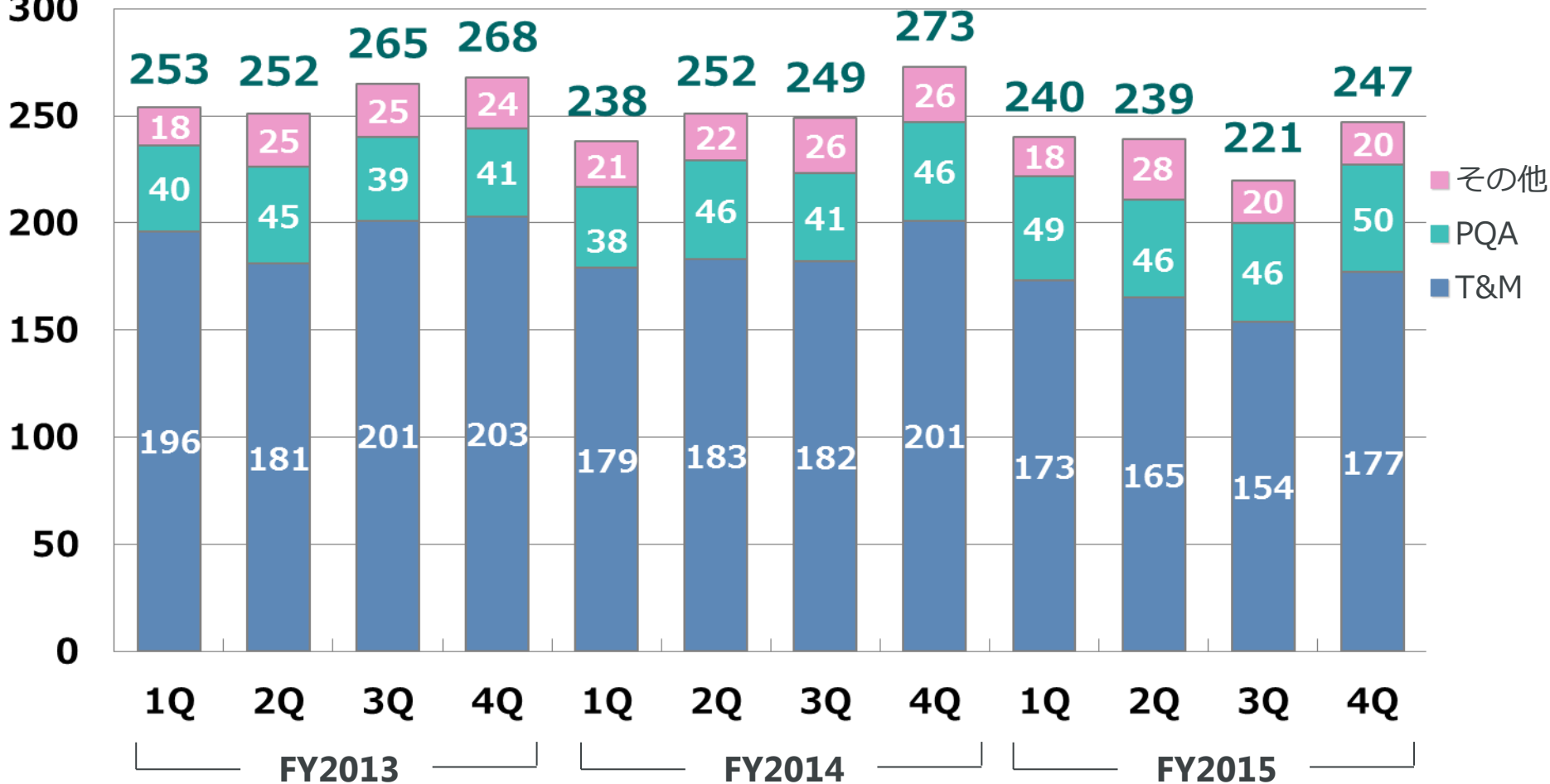
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - 受注高推移 -

▶ T&M：前年四半期比12%減少

▶ PQA：四半期として最高水準

億円
300



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前期実績	当期実績	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
T&M	売上高	734	677	△ 57	△ 8%
	営業利益	89	47 *	△ 42	△ 47%
	(コア営業利益)	(88)	(54)	(△34)	(△39%)
PQA	売上高	162	189	27	17%
	営業利益	8	12	4	45%
	(コア営業利益)	(7)	(12)	(5)	(62%)
その他 (含：内部消去)	売上高	92	89	△ 3	△ 3%
	営業利益	11	△ 0	△ 11	-
	(コア営業利益)	(6)	(△0)	(△6)	-
合計	売上高	988	955	△ 33	△ 3%
	営業利益	109	59 *	△ 50	△ 46%
	(コア営業利益)	(101)	(65)	(△36)	(△35%)

(注1) コア営業利益：IFRSベースの営業利益から、一時的要因を排除した恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標

(注2) 値はそれぞれの欄で四捨五入

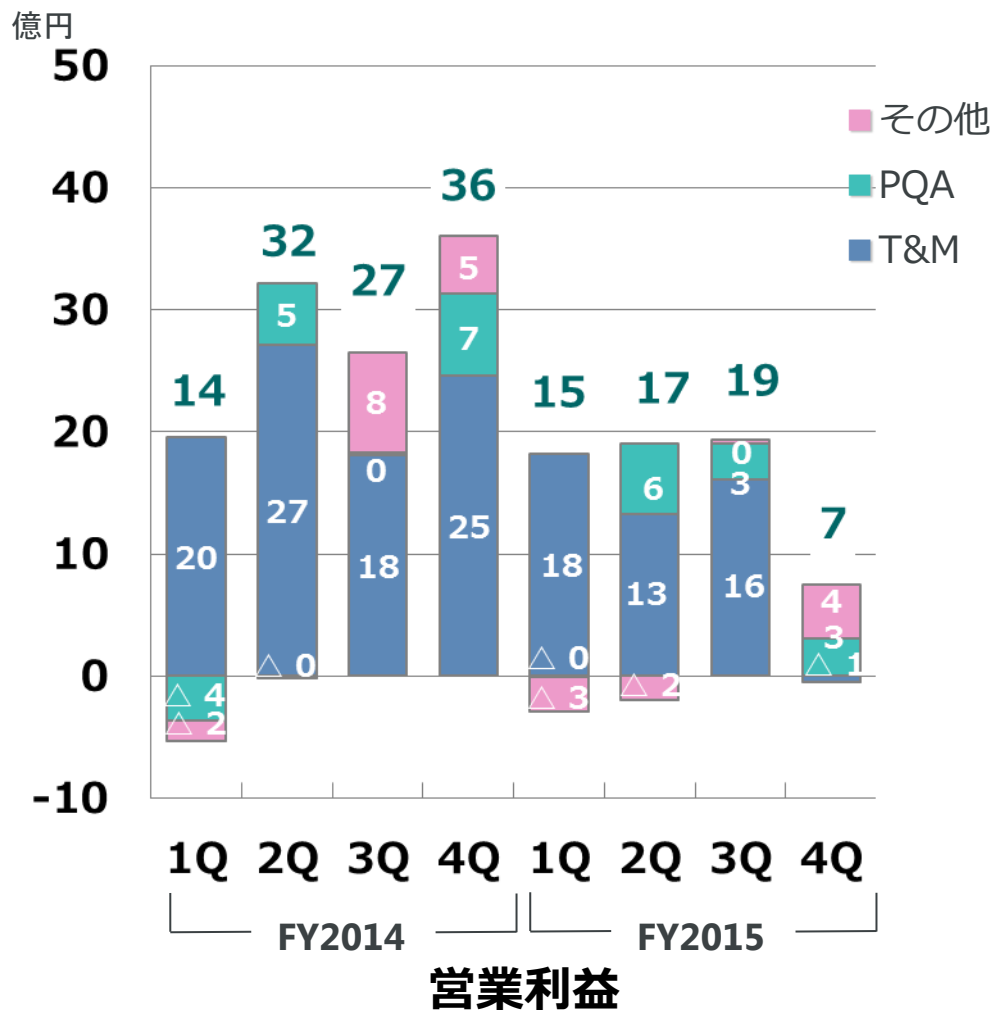
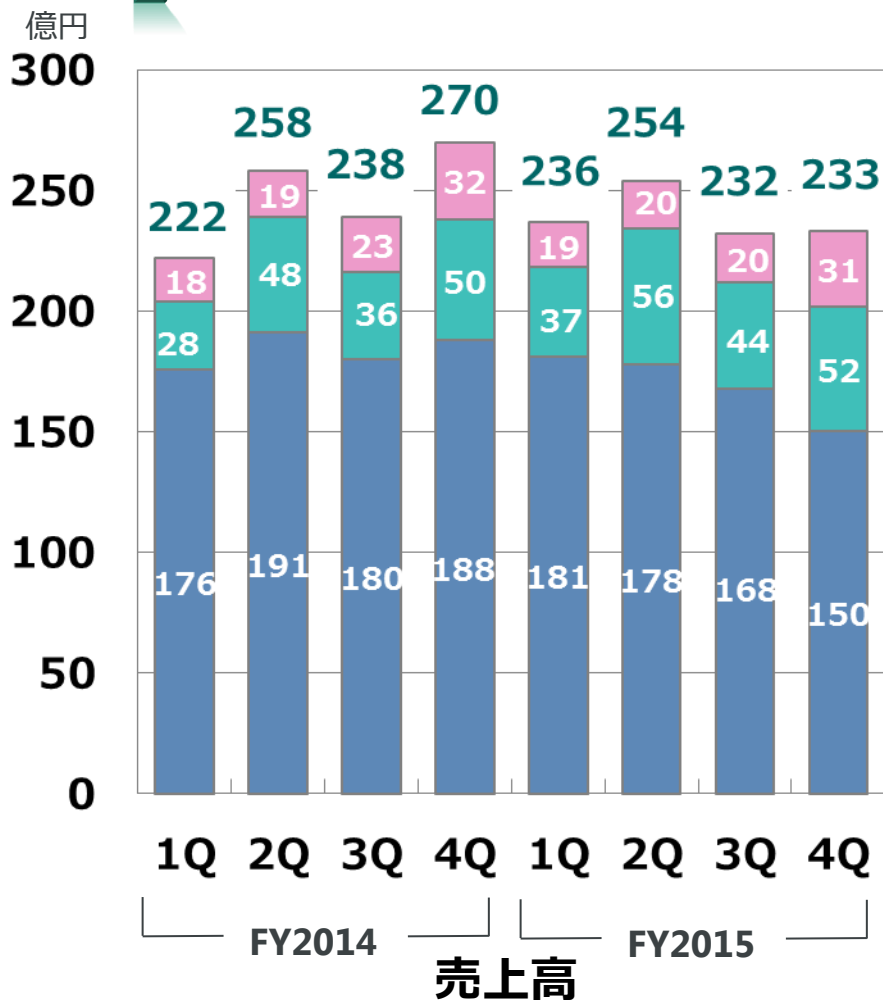
T&M: Test & Measurement

PQA : Products Quality Assurance

*リストラ費用約7億円含む

I - 2. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 第4四半期の連結営業利益率 3.1%



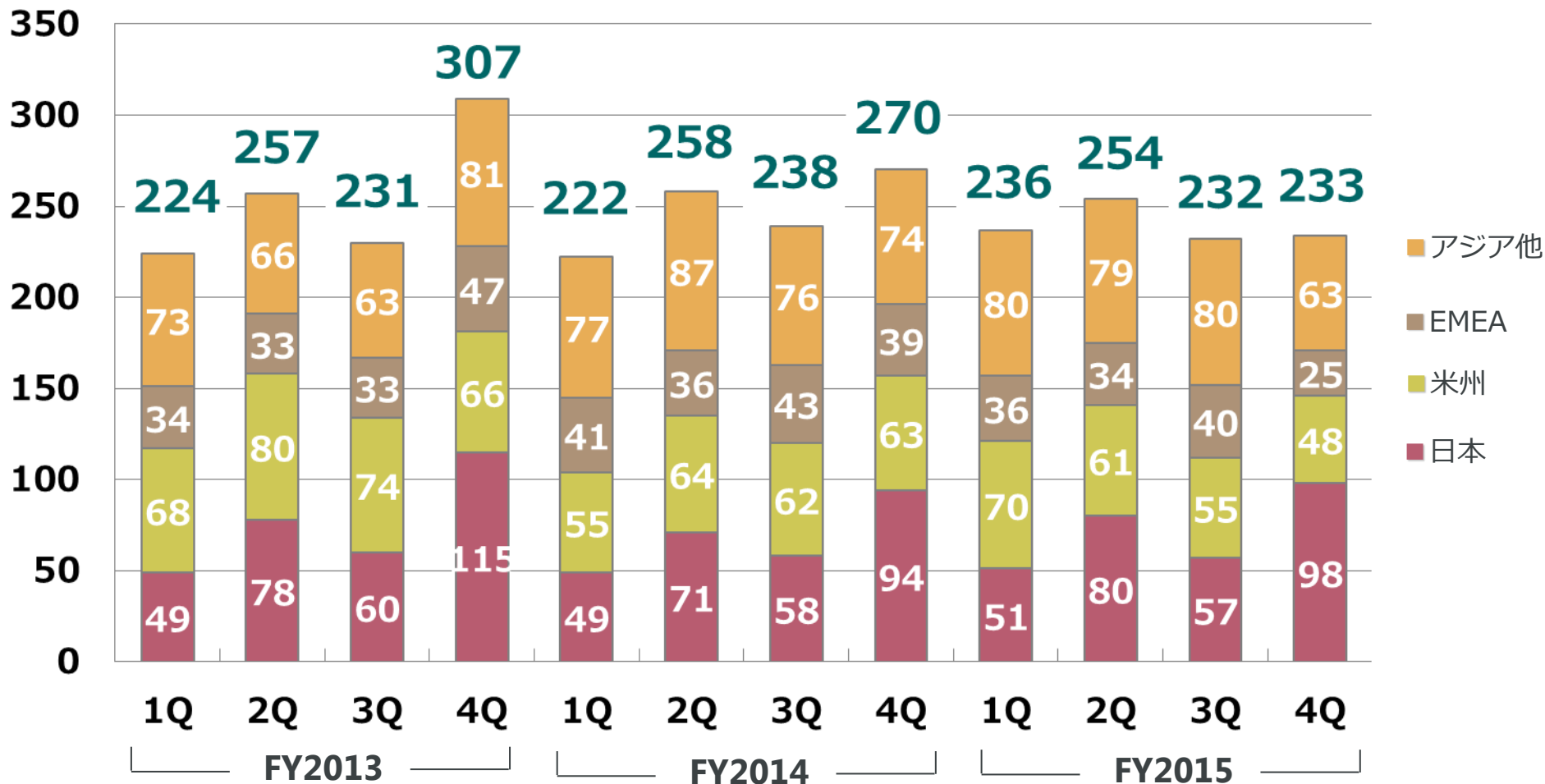
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

FY15 T&M 営業利益には
リストラ費用 (2Q: 4億円, 3Q: 1億円, 4Q: 2億円) を含む

I - 2. 連結決算概要 - 地域別売上高推移 -

▶ 前年第4四半期比、米州、EMEA、アジアで減収

億円



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - キャッシュフロー -

▶ 営業CFマージン率11%

FY2015 (累計)

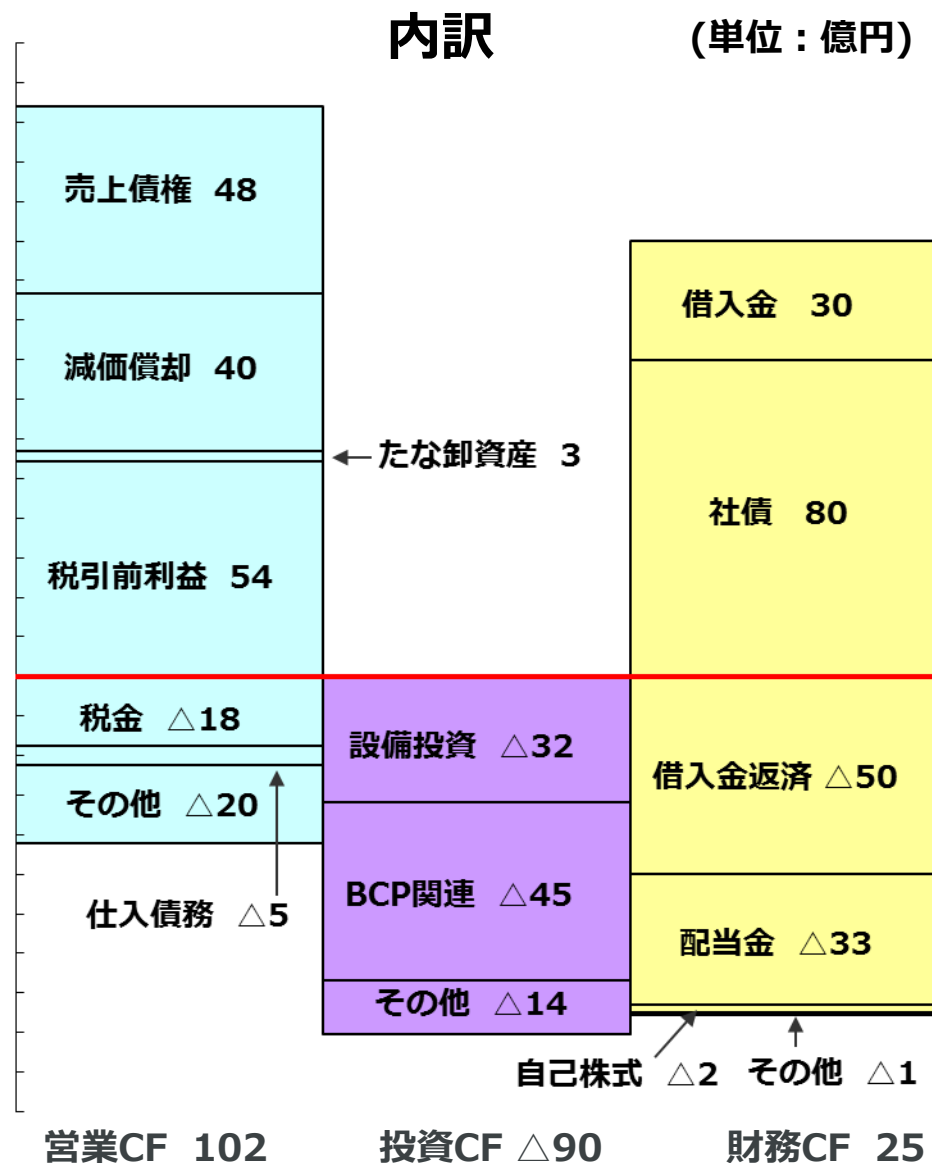
- ①営業CF： 102億円
- ②投資CF： △90億円
- ③財務CF： 25億円

フリーキャッシュフロー
(①+②)： 12億円

現金同等物期末残高
374億円

有利子負債高
220億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



II - 1. 2017年3月期 通期業績予想（連結）

▶ 円高見通しの中、前年度並み以上を確保

（単位：億円）

国際会計基準(IFRS)		2016/3期	2017/3期		
		前期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		955	970	15	2%
営業利益		59*	72	13	22%
税引前利益		54**	71	17	31%
当期利益		38	53	15	41%
T&M	売上高	677	680	3	0%
	営業利益	47*	55	8	17%
PQA	売上高	189	200	11	6%
	営業利益	12	14	2	17%
その他 (含：内部消去)	売上高	89	90	1	1%
	営業利益	△ 0	3	3	-

*リストラ費用約7億円含む

**金融収支に為替差損約4億円含む

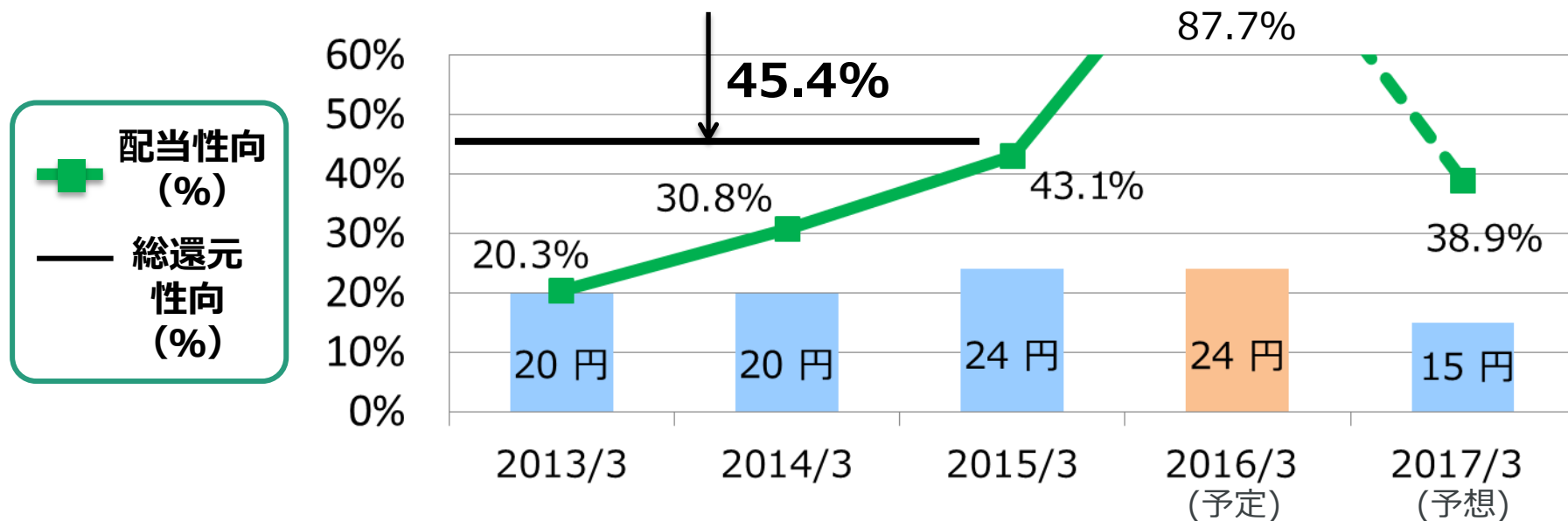
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入
 (参考) FY15為替レート : 1米ドル120円、1ユーロ=133円
 FY16想定為替レート : 1米ドル110円、1ユーロ=125円

Ⅱ - 2. 配当予想について

年間配当

	年間配当	当期利益	配当性向
2017年3月期（予想）	15円	53億円	39%
2016年3月期（予定）	24円	38億円	88%

FY12～FY14の総還元性向 45.4%（自己株式取得50億円含む）



Ⅲ. GLP2017達成に 向けた取り組み

中長期の事業戦略の基本方針 <再掲>

成長ドライバーを確実にキャッチして、

“利益ある持続的成長” を実現する

	市場 年平均 成長率	成長ドライバー	GLP2017 営業利益率 /ROE (当初計画)	ターゲット	
				売上 成長率	営業 利益率
T&M	3-5%	ブロードバンドの拡大と革新 (1) LTE-Advanced (2) IoT/5G, Connectivity (3) Network Reshaping	15%	≥ 7%	≥ 20%
PQA	3-5%	安全・安心と健康の増進 X線による品質保証ソリューション	8%	≥ 7%	≥ 12%
連結	—	—	14%	—	≥ 18%
ROE	—	—	14%	≥ 15%	

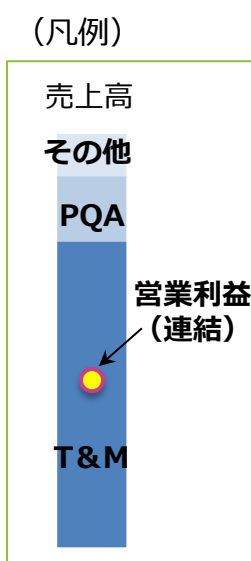
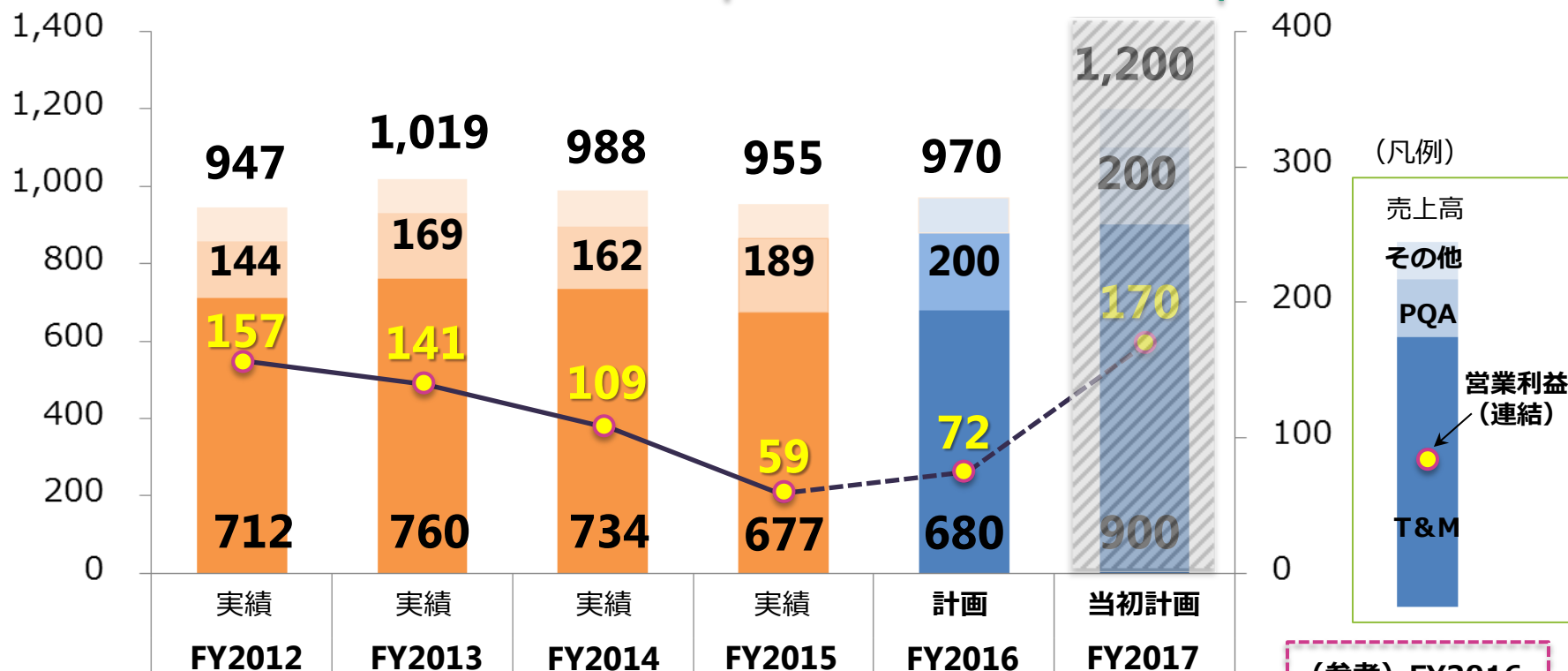
GLP2017経営目標の変更

国際会計基準(IFRS)

売上高 (億円)

GLP2017

営業利益 (億円)



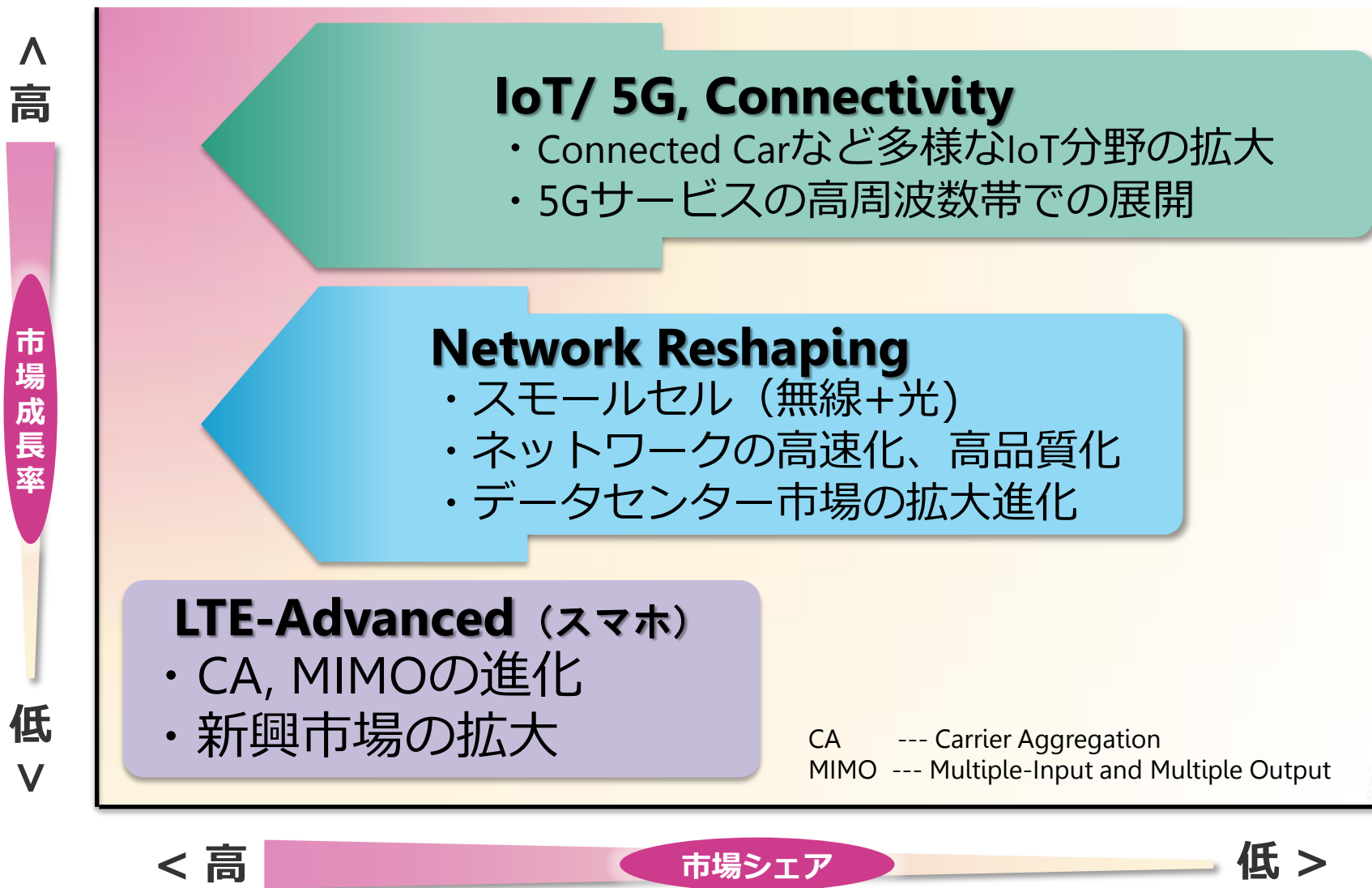
(参考) FY2016
 想定為替レート：
 1米ドル=110円
 1ユーロ=125円

営業利益率	連結	17%	14%	11%	6%	7%	10%
	T&M	21%	17%	12%	7%	8%	12%
ROE	連結	25%	13%	10%	5%	7%	10%
営業CFマージン率		12%	14%	8%	11%	11%	13%

変更

*PQA: Products Quality Assurance

<T&M> 次の成長ドライバー獲得に向けた ポートフォリオ再構築



<PQA> 利益ある成長に向けたグローバル競争力強化

▶ 今後の見通し

- コンビニ、スーパーの中食（惣菜、冷食、弁当）のニーズは、今後10年以上にわたって年々増加の傾向が続く。（農林水産省見通し）
- 北米での食肉検査需要増大。
- アジア、新興国における品質保証市場が拡大。

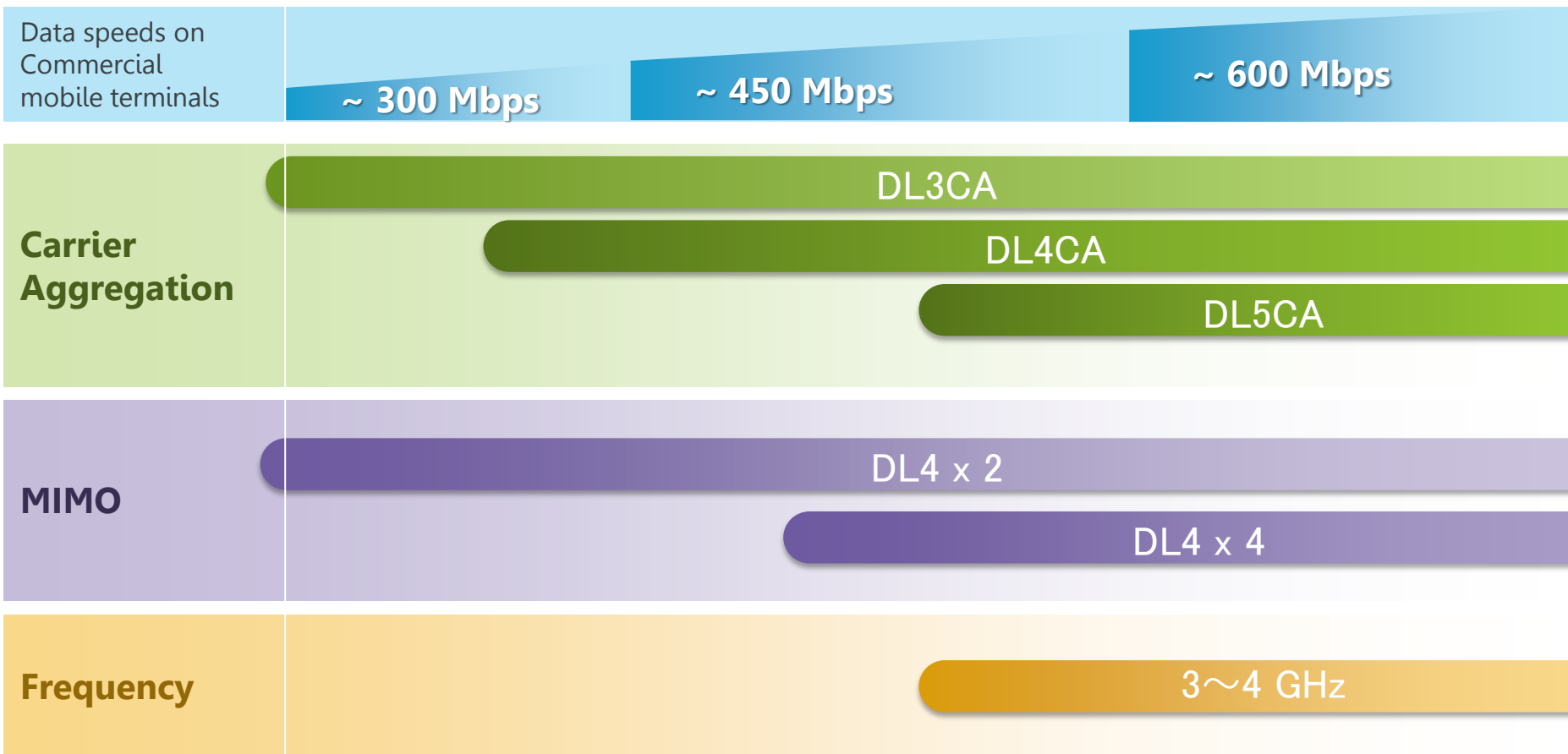
▶ 主な取り組み

- 地域毎のニーズにマッチしたX線異物ソリューションの品揃えの充実と高付加価値化。
- グローバル顧客との関係を強化し、海外売上高比率50%を目指す。
- 非食品市場（医薬品・化粧品等）での売上拡大。

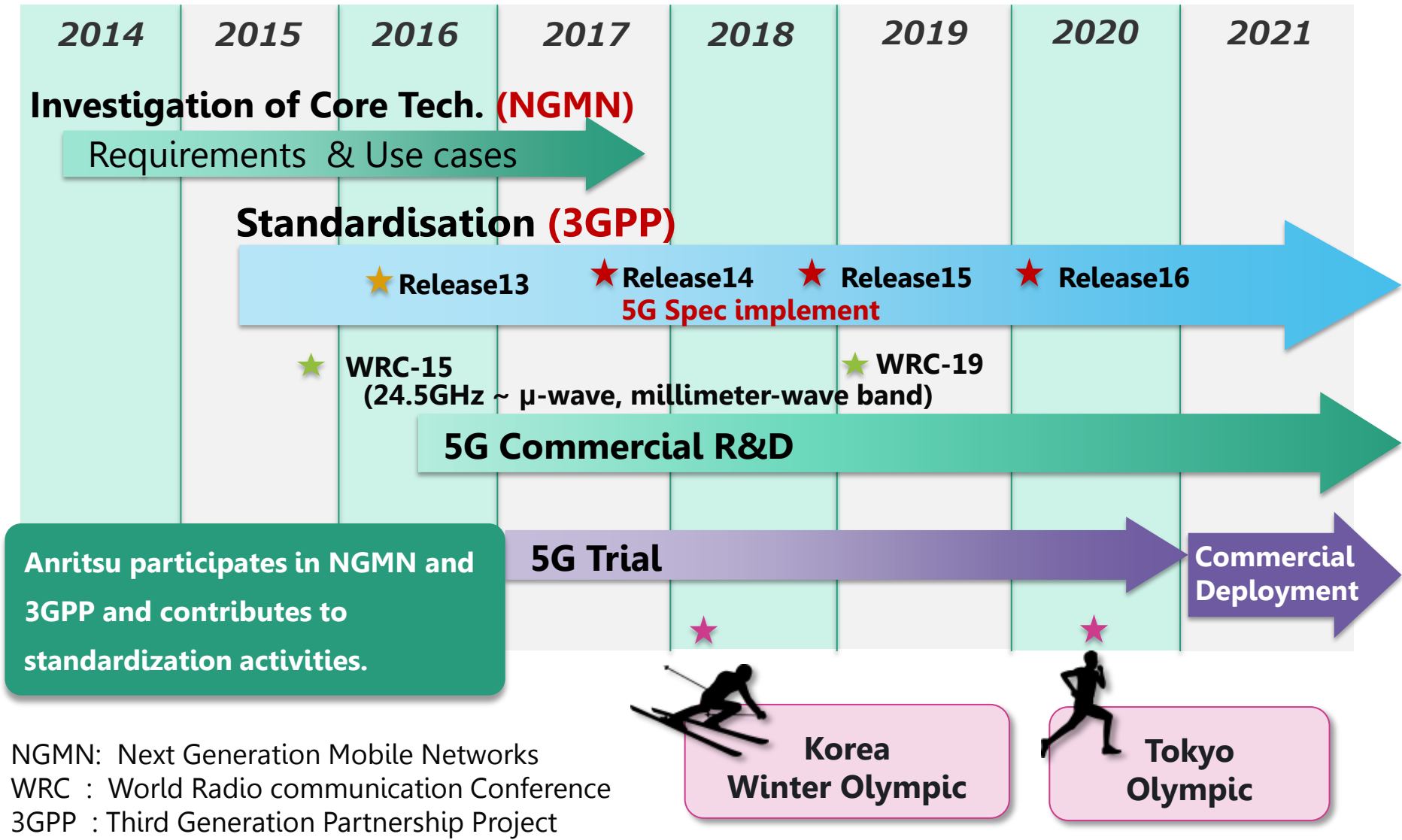
Appendix- 1. Roadmap of LTE-Advanced < T&M >

Chipset → UE → Operator

Expected demand for measuring instruments for R&D



Appendix - 2. LTE-Advanced ~ 5G roadmap (CY2015~CY2020)



Anritsu participates in NGMN and 3GPP and contributes to standardization activities.

NGMN: Next Generation Mobile Networks
 WRC : World Radio communication Conference
 3GPP : Third Generation Partnership Project

Anritsu
envision : ensure